

去る10月、県議会建設・企業常任委員会が開催され、おざわ良央常任委員会副委員長は、地元小田原市や県西地域で多発する自然災害への、知事はじめ県当局の対応や今後の備え等について、2日間にわたり質問しました。

地域の安心・安全をめざして

令和2年10月 県議会 建設・企業常任委員会 副委員長報告

神奈川県議会議員 **おざわ良央** よしなか



① 森戸川護岸災害復旧工事について

おざわ 昨年の台風19号で、森戸川の護岸が40メートル崩落、復旧工事が遅延。法面崩落等への地域住民の不安が大きく問題となったが。

河川課長 本格復旧工事が長雨等もあり遅延。地域説明会を開催したが、今後はより丁寧な住民対応を図り、早急な復旧に努めてまいります。

② 酒匂川三保ダムの事前放流について

おざわ 昨年暮れ、国のダムの洪水調節機能の基本方針が変わり、農業利用等の利水容量を、治水の洪水調節に事前放流可能となった。酒匂川上流部の三保ダムの事前運用はどう変わるのか。

河川課長 流域市町や関係団体と治水協定を結び、ダムの有効貯水容量の3割だった洪水調整容量を最大限活用可能とし、事前放流の態勢を整えた。また、基準降雨量を超えた場合は、関係利水者に連絡、水位を従来より2.8メートル低減できる事前放流を実施。下流の被害軽減を期待できます。

③ 市内主要河川の整備について

おざわ 「県水防災戦略」のハード対策として位置づけられている山王川小田急線橋梁の架け替えと護岸嵩上げ工事は。

河川課長 橋梁架け替えは今年度から川幅拡幅着手、令和6年完成予定。護岸嵩上げ工事は協和橋下流は完了。兎河原橋下流も今年中に完成予定。

おざわ 県西地域河川の堆積土砂の撤去や樹木の伐採等未然防止対策、また、緊急補修や緊急堤防整備工事は。

河川課長 県西地域では、酒匂川など8河川18箇所を実施予定。緊急補修工事は、洞川、仙了川の護岸補修予定。酒匂川では栢山の堤防嵩上げを実施。



④ 狩川の霞堤の内水氾濫について

おざわ 浸水被害の原因は内水氾濫とのことだが、今後の取り組みは。また、霞堤の意義は。

河川課長 小田原市と現地調査し、狩川と流入水路の接続付近の草刈り、堆積土砂撤去を緊急実施した。流入水路の改修や狩川の水位低減が有効で、今年度と来年度に土砂撤去実施。また小田原市は水路改修の予定。

霞堤は酒匂川水系のように急流河川に設けられる副堤防。洪水時には溢れた水の一時的な貯水池機能を果たす。昨今、霞堤の役割が見直されています。

おざわ 近年、全国的にも霞堤内の宅地開発が見られる。霞堤の意義と今後については、内水排除や下流への影響は勿論、各面より慎重に検討すべき。流域住民の生命や財産に直結する課題解決に一層の取り組みを望みます。

⑤ 簡易水位計や簡易型河川監視カメラの設置について

おざわ 「県水防災戦略」では、ソフト対策として、水位計や監視カメラの設置

が言われているが。
河川課長 昨年の東日本台風を踏まえ、市町村等からの要望が多い箇所を優先。狩川の飯田岡橋付近等から設置し、避難対策の強化に取り組む。

⑥ 南足柄市と箱根町を結ぶ県道整備について

おざわ 通称“南箱道路”は、台風災害等により完工予定が大幅に遅延。地域活性化の起爆剤と早期完工が期待されている。全面開通を急ぐべき。

道路整備課長 開通により、県西地域の新たな道路ネットワークが構築され、箱根地域の道路被災の際の代替ルートにもなる。自然災害等なければ令和3年の春頃までに開通予定。

企画制作・おざわ事務所
TEL)0465-35-0001 FAX)0465-35-4666